

令和7年度 埼玉県学力・学習状況調査

タップで実感 アップでスマイル

1 調査の主な特長と概要

(1) 主な特長

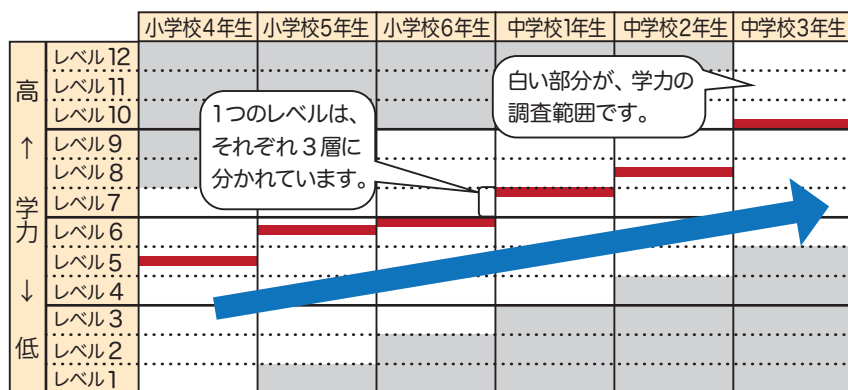
お子さんたちを見ると、伸びる時期やスピードは様々ですが、一人一人は確実に成長しています。県では、お子さんたちが現在の実力を知り、「どれだけ自分が伸びたか」を実感し、自信を深めていくことを大切にしたいと考えています。



コバトン

本調査では、「学習した内容がしっかりと身に付いているのか」だけでなく、「一人一人の学力がどれだけ伸びているのか」も確認できます。

調査の結果をもとに学校、市町村、県が効果的な指導法を発掘し、お子さん一人一人の成長を支え、一人一人を確実に伸ばす教育を進めます！



毎年受けることで、小学校4年生～中学校3年生までの6年間の「学力の伸び」を確認できます。

(2) 概要

● 教科に関する調査

学習の積み重ねが「学力の伸び」につながります！

毎年の調査結果を見比べることによって、1年間の学習の積み重ねが「学力の伸び」として見られます。

● 児童生徒質問調査

「ルールやマナーを守る意識」も大切な力です！

お子さんたちの成長にとって大切な「社会のルールやマナーに対する意識」なども見られます。

大事なことは、
一人一人のお子さんが
「どれだけ成長できているか」
です！



※「学力の伸び」は本調査の2年目以降に見られます。

※埼玉県学力・学習状況調査の結果は、学校の成績には一切含まれません。

2 調査の内容

(1) 教科等

実施学年	調査の内容	
小学校4年生から6年生	国語・算数	質問調査
中学校1年生	国語・数学	
中学校2年生から3年生	国語・数学・英語	



(2) 調査のスケジュール

実施日 令和7年4月23日(水)から5月21日(水)

結果の返却 令和7年8月以降を予定

※出題範囲は、調査を受ける前の学年までに学習した内容になります。
(例えば、小学校4年生の問題は小学校3年生までに学習した内容です。)

3 CBT*の主なメリット

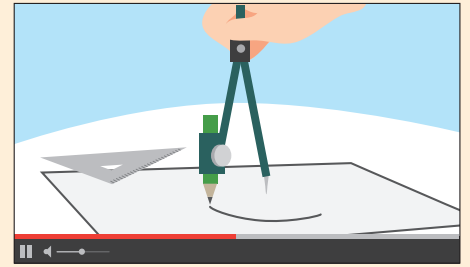
CBT*とは、「Computer Based Testing」の略で、タブレット端末等(1人1台端末)を使用して調査を行うものです。

動画を活用した問題など、実際の学習場面に即した出題が可能になるとともに、正誤の状況に加えて問題ごとの解答時間も記録・分析することが可能になるので、これまで以上にお子さんの学びの状況を細かく把握し、改善につなげることができます。

作図する様子や吹き出しで再現した会話等を動画で出題

算数 問1

右の動画を見て、問題に答えましょう。



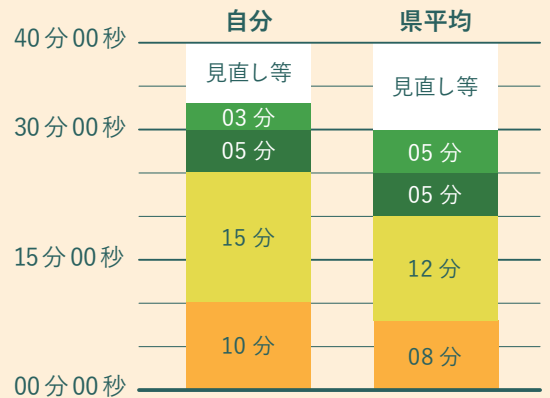
得意・不得意な領域等を把握

県平均と比べて時間をかけた問題

領域等	数と計算		
問題概要	小数と整数のたし算をする		
見直し回数	7	正誤	正
県正答率	45.2%		
かけた時間	5分12秒		
かけた時間 県平均	2分45秒		

領域等別のかけた時間

- ア：数と計算
- イ：図形
- ウ：測定
- エ：データの活用
- 見直し等



4 家庭での調査結果の活用法 「伸び」が見えると「意欲」が高まります！

一人一人が自分の成長を実感する！



やればできるんだ！

僕にはこんな力もあったんだ！

一人でやってみたい！

もっとやってみたい！



コバトン

自信と学習意欲の醸成につながります

STEP1

お子さんの「よいところ」「努力が必要なところ」を把握

調査では、「学習した内容がどれだけ身に付いているのか」がわかります。毎年調査を受けることで、「学力の伸び」も見ることができます。結果を見て、お子さんの現在の学力を知り、それをどれだけ伸ばしていくかということが大切です。学校の先生と話し合いながら、お子さんのよさを伸ばしましょう。

STEP2

一人一人のお子さんに合った「目標の設定」

お子さんの「よいところ」「努力が必要なところ」をもとに、お子さんと一緒に具体的な目標を立てましょう。

STEP3

「家庭学習の習慣化」

目標に向けて学力を伸ばしていくためには、学校の授業の予習・復習を中心とした家庭学習を習慣化していくことが必要です。家庭学習を習慣化するためには、お子さんの主体的に学習に取り組む態度を育むことが大切です。お子さんと一緒に家庭学習を習慣化するためのルール作りをしてみるとよいでしょう。

問い合わせ先

埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課 学力向上推進・学力調査担当
電話：048-830-6752 メール：a6750-01@pref.saitama.lg.jp